

プログラム

1日目：11月12日（木）

一般講演（口頭発表）

時 間 10：00～11：30

会務総会

時 間 13：10～14：00

特別講演 1

時 間 14：10～15：00 A会場（2階 大ホール）
講演者 渡邊 治雄（国立感染症研究所 前所長）
演 題 食品媒介性感染症の最近の動向
司 会 五十君 静信（国立医薬品食品衛生研究所）

教育講演

時 間 15：00～15：50 A会場（2階 大ホール）
講演者 服部 正平（早稲田大学 理工学術院 教授）
演 題 ヒト腸内細菌叢の生態と機能
司 会 川本 伸一（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
食品総合研究所）

シンポジウム 1 「食品の微生物制御の抱える課題と検査」

時 間 16：00～18：00 A会場（2階 大ホール）
司 会 黒木 俊郎（神奈川県衛生研究所）
勢戸 祥介（大阪府立大学）

- S-1-1 行政検査から見えてくる現代の食中毒菌および真菌汚染事情
久米田 裕子（大阪府立公衆衛生研究所）
- S-1-2 食品の微生物試験結果の信頼性とは
森 曜子（公益財団法人日本適合性認定協会）
- S-1-3 食品からのウイルス検出法の現状と課題
上間 匡（国立医薬品食品衛生研究所）
- S-1-4 食中毒としての食品媒介寄生虫症 現状と検査の課題
杉山 広（国立感染症研究所）

学術交流会

時 間 19:00～21:00 (時間は予定)
場 所 川崎日航ホテル 12階 鳳凰の間

2日目：11月13日(金)

一般講演(口頭発表)

時 間 9:30～11:20

一般講演(ポスター発表示説)

時 間 11:20～12:10

特別講演2

時 間 13:30～14:45 A会場(2階 大ホール)
講演者 ロバート・エル・ブギヤナン(米国メリーランド大学 教授)
演 題 How Do You Develop Food Safety Risk Management Systems in a World that Does Not Understand Risk??
司 会 春日 文子(国立医薬品食品衛生研究所)
(英語での講演ですが、司会による逐次通訳を予定しております)

シンポジウム2 「食品の微生物制御における国際整合性と工程管理の重要性」

時 間 15:00～17:00 A会場(2階 大ホール)
司 会 木村 凡(東京海洋大学大学院)
窪田 邦宏(国立医薬品食品衛生研究所)
S-2-1 Integrated risk management of food - ICMSF and HACCP
マーチン・コール(ICMSF)
S-2-2 わが国にHACCPをどのように導入していくか
梅田 浩史(厚生労働省医薬食品局食品安全部)
S-2-3 わが国におけるHACCP認証の取り組み
湯川 剛一郎(東京海洋大学 先端科学技術研究センター)

優秀発表賞表彰・閉会

時 間：17:00～17:20 A会場(2階 大ホール)

一般講演（口頭発表）

第1日目 11月12日（木）

A会場（2階 大ホール）

10：00～10：30 座長：下島優香子（東京都健康安全研究センター）

A-01 ふん便および牛レバーを対象とした *Campylobacter fetus* subsp. *fetus* の検査法の検討
○横山敬子，高橋正樹，赤瀬 悟，石塚理恵，下島優香子，神門幸大，小西典子，尾畑浩魅，門間千枝，畠山 薫，甲斐明美，貞升健志
（東京都健康安全研究センター）

A-02 ゼリー飲料および固形化成分を含有する粉末清涼飲料の細菌試験法の問題点とその改善法の検討
○石川暢子¹⁾，齋藤明美¹⁾，吉田信一郎¹⁾，市川希美²⁾，森 哲也²⁾，伊藤 武²⁾，池本尚人³⁾，加藤一郎⁴⁾，林 伸之⁵⁾，工藤由起子⁶⁾
（(一財)日本食品分析センター¹⁾，(一財)東京顕微鏡院²⁾ サントリービジネスエキスパート株式会社³⁾，株式会社伊藤園⁴⁾，キリン株式会社⁵⁾，国立医薬品食品衛生研究所⁶⁾）

A-03 冷凍食品における腸球菌の衛生指標菌としての有用性
○国府島 泉
（就実短期大学）

10：30～11：00 座長：工藤由起子(国立医薬品食品衛生研究所)

A-04 一般細菌数検査の不確かさの検討
○船橋圭輔¹⁾，丸山 稔²⁾，谷川徳行¹⁾，木村友佳¹⁾，吉村由美¹⁾
（岡山市保健所衛生検査センター¹⁾，岡山市保健所衛生課²⁾）

A-05 クロモアガーSTEC 培地と CT-クロモアガーSTEC 培地の比較検討
○神門幸大，小西典子，尾畑浩魅，赤瀬 悟，門間千枝，平井昭彦，貞升健志，甲斐明美
（東京都健安研）

A-06 飼料におけるサルモネラ迅速検査法の検討
○植野一馬，北澤秀基，盛田隆行
（日清オイリオグループ(株)）

11 : 00~11 : 30 座長 : 久米田裕子 (大阪府立公衆衛生研究所)

- A-07 腸内細菌検査における培地上の集落の色相を利用した自動判定の試み
○梅津千安希¹⁾, 那須潜思¹⁾, 中川 弘²⁾
(仙台高専¹⁾, 株式会社BML フード・サイエンス²⁾)
- A-08 薬剤および食品添加物により処理された菌に対する PMA-qPCR の有効性
○廣川絵梨, 高橋 肇, 春日良太, 久田 孝, 木村 凡
(東京海洋大学食品微生物学研究室)
- A-09 健康保菌者の検便検査を対象としたマルチプレックスプライマーの評価(第二報)
○武田正嗣, 小西啓太, 林 麻貴, 齋藤祐一, 中川 弘
((株) BML フード・サイエンス)

B会場 (6階 大会議室)

10 : 00~10 : 30 座長 : 高木弘隆 (国立感染症研究所)

- B-01 TaqMan®プローブを用いたノロウイルス検出キットの有用性の検討
○山崎友実¹⁾, 東 隆寛¹⁾, 井上 伸²⁾, 荒川 琢¹⁾
(東洋紡(株)敦賀バイオ研¹⁾, (株)東邦微生物病研究所²⁾)
- B-02 Direct real time RT-PCR 法を用いた環境中ノロウイルス検出法の開発
○西村直行
(島津総合サービス)
- B-03 Direct real time RT-PCR 法を用いた拭き取り検体中のノロウイルス検出の事例報告
○早稻田晃子^{1) 2)}, 小澤貴子¹⁾, 太田建爾¹⁾, 濱田 (佐藤) 奈保子²⁾, 大津竜也¹⁾
((株)町田予防衛生研究所¹⁾, 東京海洋大学大学院食品流通安全管理専攻²⁾)

10 : 30~11 : 00 座長 : 清水英明 (川崎市健康安全研究所)

- B-04 生物発光酵素免疫測定法(BLEIA 法)によるノロウイルス検査用新採便容器(BL 採便容器)の評価
○田原麻衣子¹⁾, 小林理香¹⁾, 酒巻 望²⁾, 佐々木直一²⁾, 大廣義幸²⁾, 林田広美¹⁾, 伊藤 武¹⁾
((一財) 東京顕微鏡院¹⁾, 栄研化学株式会社²⁾)
- B-05 便からのノロウイルス検査における BL 採便容器の有用性評価
○藤田雅弘¹⁾, 塚越博之¹⁾, 小林美保¹⁾, 松田錦弥¹⁾, 猿木信裕¹⁾, 鈴木 涉²⁾, 大熊 博²⁾, 木村博一³⁾

(群馬県衛生環境研究所¹⁾, 栄研化学株式会社²⁾, 国立感染症研究所³⁾)

B-06 カキからのノロウイルス抽出法の検討

○菅原直子¹⁾, 木村俊介¹⁾, 鈴木優子¹⁾, 佐々木美江¹⁾, 植木 洋¹⁾, 渡邊 節¹⁾,
真砂佳史²⁾, 大村達夫³⁾, 野田 衛⁴⁾

(宮城県保健環境センター¹⁾, 国際連合大学サステイナビリティ高等研究所²⁾, 東北
大学未来科学技術共同研究センター³⁾, 国立医薬品食品衛生研究所⁴⁾)

11:00~11:30 座長: 勢戸祥介 (大阪府立大学)

B-07 食品のサポウイルス検査にパンソルビン・トラップ法を用いる際の RNA 検出系の最適化

○斎藤博之¹⁾, 秋野和華子¹⁾, 野田 衛²⁾

(秋田県健康環境セ¹⁾, 国立医薬品食品衛生研究所²⁾)

B-08 食品のウイルス検査における偽陽性防止対策に関する検討

○秋野和華子¹⁾, 斎藤博之¹⁾, 野田 衛²⁾

(秋田県健康環境セ¹⁾, 国立医薬品食品衛生研究所²⁾)

B-09 Feline calicivirus をモデルとした H₂O₂ 抵抗性株獲得と他製剤に対する感受性変化について

○高木弘隆

(国立感染症研究所)

C会場 (3階 第4・第5会議室)

10:00~10:30 座長: 川崎 晋 (食品総合研究所)

C-01 新型エンテロトキシン (CPiLE) 産生ウエルシュ菌の分布と分離菌株の性状

○門間千枝¹⁾, 齊木 大¹⁾, 赤瀬 悟¹⁾, 神門幸大¹⁾, 下島優香子¹⁾, 畠山 薫¹⁾,
小西典子¹⁾, 尾畑浩魅¹⁾, 平井昭彦¹⁾, 貞升健志¹⁾, 鎌田洋一²⁾, 甲斐 明美¹⁾
(都健安研・微生物¹⁾, 岩手大²⁾)

C-02 ウエルシュ菌新型エンテロトキシン (CPiLE) の芽胞形成時における産生

塚田滉巳¹⁾, 入倉大祐²⁾, 門間千枝³⁾, 甲斐明美³⁾, 長井和哉¹⁾, ○鎌田洋一¹⁾
(岩手大学¹⁾, 堀場製作所²⁾, 東京都健康安全研究センター³⁾)

C-03 日本における生食野菜の *Cronobacter* spp. に関する研究

○上田成子, 安達美貴子, 梶原朱梨, 佐久間優子, 中村双葉, 森 晴美,
渡邊結未花

(女子栄養大学 衛生学教室)

10 : 30～11 : 00 座長：磯部順子（富山県衛生研究所）

- C-04 肉用牛および農場環境における腸管出血性大腸菌 0157 の汚染実態
○和田真太郎，森 哲也，岸野かなえ，横田春海，鄒 碧珍，伊藤 武
（東京顕微鏡院）
- C-05 ベトナム，メコンデルタ地区における家畜からのESBL産生大腸菌の分離と性状解析
○日根野谷 淳¹⁾，Tran Thi Thu Suong²⁾，Nguyen Trong Ngu²⁾，Nguyen Cong Ha²⁾，
Le Nguyen Doan Duy²⁾，Hoai Hoang Phuong¹⁾，住村欣範³⁾，山本容正⁴⁾，山崎伸二¹⁾
（大阪府大・院・生命環境¹⁾，カントー大学・農²⁾，大阪大学GLOCOL³⁾，大阪府公衛研⁴⁾）
- C-06 浅漬における腸内細菌科菌群汚染実態と分離株の薬剤感受性
○原田哲也，神吉政史，田口真澄，久米田裕子
（大阪府立公衆衛生研究所）

11 : 00～11 : 30 座長：中馬猛久（鹿児島大学）

- C-07 ベトナムで流通する香辛料の腸内細菌科菌群汚染実態と分離株の薬剤耐性
○山根諒子¹⁾，原田哲也²⁾，井澤恭子²⁾，河原隆二²⁾，久米田裕子²⁾，伊勢川裕二¹⁾，
山本容正²⁾
（武庫川女子大学¹⁾，大阪府公衛研²⁾）
- C-08 鶏肉由来大腸菌の薬剤感受性
○西野由香里，下島優香子，井田美樹，石塚理恵，黒田寿美代，吉原祥子，甲斐明美，
平井昭彦，貞升健志
（東京都健康安全研究センター微生物部）
- C-09 食品から分離した大腸菌の薬剤耐性について
○吉田孝子，阿部剛士，田邊純子，橋田みさを，堀 重俊
（奈良県保健研究センター）

第2日目 11月13日(金)

A会場(2階 大ホール)

9:30~10:06 座長:鎌田洋一(岩手大学)

A-10 イオン交換クロマトグラフィーを用いた乳・乳製品中のブドウ球菌エンテロトキシンAの検出

○平山若菜, 藤川 浩
(東京農工大農学部獣医公衆衛生学)

A-11 細菌構造転写技術に基づく迅速検出法の開発

○床波志保, 中田啓之, 清水恵美, 椎木 弘, 長岡 勉
(阪府大院工)

A-12 DNAクロマトを用いた迅速・簡便な食中毒原因菌検出法の開発

Riztyan¹⁾, ○高崎一人¹⁾, 峯岸恭孝²⁾, 布藤 聡¹⁾
(株)ファスマック¹⁾, (株)ニッポンジーン²⁾)

A-13 食中毒検査におけるウェルシュ菌選択分離培地の検討

○門間千枝¹⁾, 高橋正樹¹⁾, 齊木 大¹⁾, 神門幸大¹⁾, 赤瀬 悟¹⁾, 小西典子¹⁾, 尾畑浩魅¹⁾, 黒田寿美代¹⁾, 清水美穂¹⁾, 平井昭彦¹⁾, 貞升健志¹⁾, 伊藤 武²⁾, 甲斐明美¹⁾
(都健安研・微生物¹⁾, 東京顕微鏡院²⁾)

10:06~10:42 座長:石村勝之(広島市衛生研究所)

A-14 缶入りゼリー菓子およびその製造環境から分離された酵母の解析

○中村寛海¹⁾, 阿部仁一郎¹⁾, 安福 潔²⁾, 宮木行雄²⁾, 西 康之²⁾, 平山照雄¹⁾, 平井有紀¹⁾, 西尾孝之¹⁾
(大阪市環科研¹⁾, 大阪市保健所²⁾)

A-15 Real-time PCR法による加熱処理した*Salmonella*の増殖/非増殖マップの作成

○川崎 晋¹⁾, 細谷幸恵¹⁾, 持田麻里¹⁾, 齋藤美枝¹⁾, 小関成樹²⁾, 稲津康弘¹⁾
(農研機構・食総研¹⁾, 北海道大学²⁾)

A-16 塩蔵ストレスを被った*Escherichia coli* 0157のReal-time PCR法による回復過程モニタリング

○細谷幸恵¹⁾, 齋藤美枝¹⁾, 持田麻里¹⁾, 小関成樹²⁾, 川崎 晋¹⁾, 稲津康弘¹⁾
(農研機構・食総研¹⁾, 北海道大学²⁾)

A-17 *Campylobacter jejuni*の加熱損傷に関する基礎研究

○小林弘司, 須田杏子, 岡田朋恵, 山内良子

(福岡女子大学)

10 : 42~11 : 18 座長 : 中村寛海 (大阪市環境科学研究所)

- A-18 セレウス菌の耐熱性について
○猪飼 薫¹⁾, 渡邊佳奈²⁾, 竹田利依子¹⁾, 奥田健司¹⁾, 服部 悟¹⁾
(愛知県衣浦東部保健所¹⁾, 愛知県がんセンター中央病院²⁾)
- A-19 大腸菌の加熱損傷・死滅に対する加熱温度, pH と食塩の影響度解析
小池佳都子¹⁾, 西田みゆき²⁾, 坂元 仁^{1, 2)}, 古田雅一^{1, 3)}, ○土戸哲明^{1, 2)}
(大阪府大・放研セ¹⁾, 関西大・生工²⁾, 大阪府大・工³⁾)
- A-20 *Cladosporium* 属胞子の加熱処理後の発育遅延解析
○原田真美¹⁾, 堀切茂俊²⁾, 坂元 仁³⁾, 土戸哲明³⁾, 古田雅一^{1, 3)}
(大阪府大院・工¹⁾, パナソニック エコシステムズ²⁾, 大阪府大・放研セ³⁾)
- A-21 栽培土壌におけるリステリアの損傷ならびにリーフレタス可食部汚染機構の解明
○本城賢一¹⁾, 林 英²⁾, 祝迫侑里²⁾, 城 聖実³⁾, 木嶋伸行⁴⁾, 宮本敬久¹⁾
(九大院農¹⁾, 九大院生資環²⁾, 九大農³⁾, 農研機構・野茶研⁴⁾)

B会場 (6階 大会議室)

9 : 30~10 : 06 座長 : 斎藤博之 (秋田県健康環境センター)

- B-10 便中ノロウイルスの保存条件における消長について
○小西啓太, 武田正嗣, 林 麻貴, 斎藤祐一, 中川 弘
(株BML フード・サイエンス)
- B-11 ノロウイルス胃腸炎における感染性粒子推定遺伝子検査法を用いた発症者および調理従事者の比較
○森 功次, 宗村佳子, 永野美由紀, 木本佳那, 秋場哲哉, 貞升健志
(東京都健康安全研究センター)
- B-12 2014-15 シーズンに広島県で検出したノロウイルス GII. 17 と BLEIA 法による検出状況
○重本直樹¹⁾, 谷澤由枝¹⁾, 酒巻 望²⁾, 大廣義幸²⁾
(広島総研保健環境セ¹⁾, 栄研化学株式会社²⁾)
- B-13 新規遺伝子型 GII. P17 を含むノロウイルス GII. 17 の遺伝子解析
○石川真理子, 松島勇紀, 清水智美, 駒根綾子, 清水英明
(川崎市健康安全研究所)

10 : 06~10 : 42 座長：藤川 浩（東京農工大学）

- B-14 黄ニラの抗 *Candida albicans* 効果に関する検討
○亀崎彩紗¹⁾，齊藤峰輝²⁾，山田作夫^{1,2)}
(川崎医福大・臨床栄養¹⁾，川崎医大・微生物²⁾)
- B-15 殺菌液卵中でのリステリアモノサイトゲネス増殖モデル
○大河内美穂¹⁾，小関成樹²⁾，宮下 隆¹⁾，久能昌朗¹⁾，杉浦勝明³⁾，局 博一³⁾
(キューピー株式会社¹⁾，北海道大学院²⁾，東京大学農学生命科学³⁾)
- B-16 植物素材を用いた *Bacillus* 属細菌芽胞の静菌
○加藤義啓¹⁾，包 紅彬¹⁾，中野宏幸¹⁾，奥田治子²⁾，石田 亘²⁾，宮崎俊之²⁾
(広島大・生物圏食品衛生¹⁾，日清製粉グループ本社²⁾)
- B-17 緑茶カテキンの殺菌効果に及ぼす水のミネラル成分の影響
○池 晶子
(羽衣国際大学)

10 : 42~11 : 18 座長：河合高生（大阪府立公衆衛生研究所）

- B-18 原因不明事例の患者糞便からの多殻目粘液胞子虫遺伝子の検出法
○江藤良樹¹⁾，前田詠里子¹⁾，村上光一¹⁾，丸山浩幸²⁾，右田雄二³⁾，世良暢之¹⁾，堀川和美¹⁾
(福岡県保健環境研究所¹⁾，福岡市保健環境研究所²⁾，長崎県環境保健研究センター³⁾)
- B-19 原因不明有症苦情事例検体からの粘液胞子虫の検出
○大西貴弘¹⁾，都丸亜希子¹⁾，吉成知也¹⁾，鎌田洋一²⁾，小西良子³⁾
(国衛研¹⁾，岩手大学²⁾，麻布大学³⁾)
- B-20 クロマグロの筋肉寄生ムツボシクドアの毒性評価
○横山 博¹⁾，城村 怜¹⁾，小林彰子²⁾，良永知義¹⁾
(東京大学大学院農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻¹⁾，東京大学大学院農学生命科学研究科 食の安全研究センター²⁾)
- B-21 ヒラメ DNA の検出が病因物質の特定に有用であったナナホシクドア食中毒事例について
○陳内理生，河合高生，原田哲也，久米田裕子
(大阪府立公衆衛生研究所)

C会場 (3階 第4・第5会議室)

9:30~10:06 座長：森田幸雄（東京家政大学）

C-10 低温殺菌牛乳の衛生学的調査

○下島優香子¹⁾，井田美樹¹⁾，西野由香里¹⁾，石塚理恵¹⁾，黒田寿美代¹⁾，幾田泰久²⁾，
小坂めぐみ²⁾，平井昭彦¹⁾，貞升健志¹⁾
(東京都健康安全研究センター微生物部¹⁾，東京都健安研広域監視部²⁾)

C-11 食用となる野生シカ，イノシシの糞便からの食中毒菌分離

○富野由通¹⁾，堀内雄太¹⁾，申 ジエ¹⁾，高野 愛²⁾，安藤匡子¹⁾，中馬猛久¹⁾
(鹿児島大学・共同獣医¹⁾，山口大学・共同獣医²⁾)

C-12 沖縄県のある給食施設の調理場の微生物汚染の実態について

○前盛友佳¹⁾，伊志嶺 哉¹⁾，国正英彦²⁾，田辺 卓²⁾，波木井千雅子²⁾，藤田 祥³⁾，
福島さやか⁴⁾，嘉陽都乃⁵⁾，中川 弘⁴⁾
(株式会社クロックワーク¹⁾，東洋製罐グループホールディングス²⁾，横河電機株式会社³⁾，
株式会社BML フード・サイエンス⁴⁾，前株式会社クロックワーク⁵⁾)

C-13 滋賀県に生息するシカの病原体保有状況調査について

○青木佳代，児玉弘美，南 真紀，梅原成子，河野智美，坂口初美，石川和彦
(滋賀県衛生科学センター)

10:06~10:42 座長：山崎 渉（宮崎大学）

C-14 保育園で発生したカンピロバクター食中毒事例について

○山本香織¹⁾，中村寛海¹⁾，長谷 篤¹⁾，後藤 薫¹⁾，平井有紀¹⁾，平山照雄¹⁾，
中川恵理²⁾，西村直己²⁾，竹内伸夫³⁾，山田和弘⁴⁾，西尾孝之¹⁾
(大阪市立環科研¹⁾，大阪市健康局健康推進部²⁾，大阪市保健所³⁾，愛知衛研⁴⁾)

C-15 食中毒事例から分離されたカンピロバクター菌株の疫学検討

○京塚明美¹⁾，井澤麻由¹⁾，鈴木康仁²⁾，池田伸代¹⁾，清水裕美子¹⁾，田内敦子¹⁾，
千神彩香¹⁾，青田達明¹⁾，築地裕美¹⁾，坂本 綾¹⁾，児玉 実³⁾，石村勝之¹⁾
(広島市衛生研究所¹⁾，広島市保健所²⁾，広島市食肉市場³⁾)

C-16 畜産農場由来カンピロバクターのMLST解析

○春名美香¹⁾，村上真理子¹⁾，今村彩貴¹⁾，佐々木貴正²⁾
(農水省・消安局¹⁾，農水省・動薬検²⁾)

C-17 腸管出血性大腸菌の分子疫学解析について（血清群0157，026，0111を中心に）

○泉谷秀昌，石原朋子，李 謙一，石嶋 希，伊豫田 淳，大西 真

(国立感染症研究所)

10 : 42～11 : 18 座長：泉谷秀昌(国立感染症研究所)

C-18 健康な人から分離された大腸菌の特徴解析

○秋吉充子¹⁾，中村寛海²⁾，加藤結子¹⁾，井口 純¹⁾
(宮崎大学¹⁾，大阪市立環科研²⁾)

C-19 腸管出血性大腸菌 0157 における Stx2 高産生性進化系統群の解析

○平井晋一郎¹⁾，横山栄二¹⁾，江藤良樹²⁾，前田詠里子²⁾，世良暢之²⁾
(千葉県衛研¹⁾，福岡県保環研²⁾)

C-20 ブドウ球菌エンテロトキシン関連プラスミドの食中毒事例への関与と変異型 *sed* 遺伝子の同定

○鈴木康規^{1,2,3)}，佐藤祐介⁴⁾，小野久弥⁵⁾，小林真紀子¹⁾，松下 秀¹⁾，加藤 玲¹⁾，
小西典子¹⁾，門間千絵¹⁾，甲斐明美¹⁾，平井昭彦¹⁾，貞升健志¹⁾，鎌田洋一^{2,3)}
(都健安研・微生物¹⁾，岩手大・共同獣医²⁾，岐阜大院・連合獣医³⁾，自治医大・医⁴⁾，弘
前大院・医学研究科⁵⁾)

C-21 黄色ブドウ球菌食中毒事例における分子疫学解析の検討

小山由美子，○水野卓也，奥田智子，後藤黄太郎
(岐阜県保健環境研究所)

一般講演（ポスター発表）

ポスター会場①（1階 イベントホール）

ポスター展示：11月12日（木）11：00～11月13日（金）14：00

ポスター討論：11月13日（金）11：20～12：10

- P-01 牛および豚肝臓から分離された *Campylobacter jejuni* および *C. coli* の薬剤感受性と PFGE 解析
○森 哲也，市川希美，岸野かなえ，和田真太郎，鄒 碧珍，難波豊彦，伊藤 武
（(一財)東京顕微鏡院）
- P-02 鶏肉から分離された *Campylobacter jejuni* および *C. coli* の薬剤感受性と PFGE 解析
○岸野かなえ，森 哲也，市川希美，和田真太郎，鄒 碧珍，難波豊彦，伊藤 武
（(一財)東京顕微鏡院）
- P-03 牛肝臓内部のカンピロバクター汚染と消化管内分布
○佐々木貴正¹⁾，平野文哉¹⁾，春名美香²⁾，永井英貴¹⁾
（農水省動薬検¹⁾，農水省消安局²⁾）
- P-04 鶏盲腸におけるカンピロバクターへのプロバイオティクス探索を目的としたパイロシーケ
エンス解析
○山崎 渉^{1,2)}，上村涼子²⁾，関口 敏^{1,2)}，谷口喬子^{1,2)}，三澤尚明^{1,2)}
（宮崎大学大学院¹⁾，宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター²⁾）
- P-05 青森県内の市販食肉中における *Campylobacter* 保有状況
○佐藤拓弥，藤岡美幸
（弘前大学大学院）
- P-06 茨城県における *Campylobacter jejuni* の PFGE 法を用いた分子疫学解析
○木澤千里，相原義之，山本和則，増子京子
（茨城衛研）
- P-07 冷凍処理による鶏肉中でのカンピロバクター汚染低減効果に関する検討
○朝倉 宏¹⁾，野田大樹^{1,2)}，吉村昌徳^{1,3)}，小西良子²⁾，山本茂貴⁴⁾，五十君静信¹⁾
（国衛研¹⁾，麻布大学²⁾，日冷検³⁾，東海大学⁴⁾）
- P-08 0157，026 以外の腸管出血性大腸菌を検出するための分離培養法の検討（2002～2014
年に岩手県で分離された菌株による）
○山中拓哉，太田美香子，熊谷 学，嶋 弘一
（岩手県環境研センター）

- P-09 食品の腸管出血性大腸菌検査における VT 遺伝子検出機器及び試薬の検討
○大塚佳代子¹⁾，森 哲也²⁾，上田泰史³⁾，中川 弘⁴⁾，清水大輔⁴⁾，甲斐明美⁵⁾，小西典子⁵⁾，長尾清香⁶⁾，寺嶋 淳⁶⁾，工藤由紀子⁶⁾
(埼玉県衛生研究所¹⁾，(一財)東京顕微鏡院²⁾，神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター³⁾，(株)BML フード・サイエンス⁴⁾，東京都健康安全研究センター⁵⁾，国立医薬品食品衛生研究所⁶⁾)
- P-10 福岡県における腸管出血性大腸菌の薬剤耐性状況 ー特に集団感染事例の原因となった ESBL 産生 EHEC 0145 についてー
○前田詠里子，村上光一，岡元冬樹，江藤良樹，西田雅博，世良暢之
(福岡県保健環境研究所)
- P-11 腸管出血性大腸菌で見つかった新規 O 血清群遺伝子型 (O-genotype) について
○井口 純¹⁾，伊豫田 淳²⁾
(宮崎大学¹⁾，国立感染症研究所²⁾)
- P-12 下痢原性大腸菌用 multiplex qPCR の検討
○池田徹也，久保亜希子，清水俊一
(北海道立衛生研究所)
- P-13 食品由来 *Listeria monocytogenes* 株における InlA および PrfA 表現型による Caco-2 細胞への侵襲性に対する影響
○神吉政史，久米田裕子
(大阪府公衛研)
- P-14 クオリボックスTMシステム Q7 を用いたリステリアスクリーニング検査の有用性の検討と流通食品における汚染実態調査
○小林宏行¹⁾，小島育子¹⁾，岡戸茉凜¹⁾，上橋健三²⁾，島崎 博¹⁾
(生活品質科学研究所¹⁾，デュポン株式会社²⁾)
- P-15 DOX システムを用いたリステリア属定量法の開発
○丹埜昭一¹⁾，福井直樹¹⁾，鳥鷹幸弘¹⁾，大川三郎²⁾，森田幸雄³⁾，Sumalee Boonmar³⁾
(ダイキン工業株式会社¹⁾，無所属²⁾，東京家政大学³⁾)
- P-16 飼料検体を用いた 3MTM Molecular Detection System サルモネラの迅速法の検討
○守山隆敏
(スリーエム ジャパン株式会社)
- P-17 ウズラカッターに付着したサルモネラの増殖態度と消毒方法の検討
○川上優太，林 芙海，川瀬 遵，村上佳子，角森ヨシエ，黒崎守人
(島根県保健環境科学研究所)

- P-18 ISO/TS 22964 に準拠した *Cronobacter* spp. の試験法の検討 ― 選択培地の比較 ―
○荻原博和¹⁾, 藤原 翠¹⁾, 福田典子¹⁾, 岡田由美子²⁾, 五十君静信²⁾
(日本大学生物資源科学部¹⁾, 国衛研²⁾)
- P-19 *Cronobacter* spp. (サカザキ菌) 検査における偽陽性菌の鑑別
○西原正晴, 須藤朋子, 宮本真理, 石井 哲, 柳平修一, 鷺尾信幸
(雪印メグミルク (株))
- P-20 食中毒事例で検出されたウエルシュ菌の分子疫学解析
○鈴木秀紀, 牧田幸久, 森主博貴, 松橋平太, 柴田真也, 長岡宏美, 川森文彦
(静岡県環衛研)
- P-21 沖縄県で発生したウエルシュ菌食中毒事例と食品中の増殖態度について
○高良武俊¹⁾, 岡野 祥¹⁾, 新垣絵理¹⁾, 久場由真仁¹⁾, 加藤峰史¹⁾, 喜屋武向子¹⁾,
久高 潤¹⁾, 稲葉千恵²⁾, 上原えりな²⁾, 仲宗根猛智²⁾, 天久朝信²⁾
(沖縄県衛研¹⁾, 沖縄県北部保健所²⁾)
- P-22 食品からのエルシニア検出法の検討
○石塚理恵, 井田美樹, 西野由香里, 下島優香子, 黒田寿美代, 吉原祥子, 甲斐明美,
平井昭彦, 貞升健志
(東京都健康安全研究センター微生物部)
- P-23 PCR 法を利用した *Byssochlamys* 属の検出について
○中川弘之¹⁾, 山下哲史²⁾, 阪口利文²⁾, 有馬寿英²⁾, 枳穀 豊¹⁾
(アヲハタ株式会社 開発本部¹⁾, 県立広島大学 生命環境学部²⁾)
- P-24 *Pseudomonas fluorescens* によるかまぼこの青色変敗事例と青色色素の産生条件
○川瀬雅雄, 猪又明日香, 木村有紀, 細谷美佳子, 紫竹美和子
(新潟県保環研)
- P-25 野菜・果物由来の薬剤耐性菌に関する研究
○村山恵美, 新光秀行, Farahnaaz Feroz, 森 美穂, 坂上吉一
(近畿大学農学部環境管理学科)
- P-26 アジアから欧州各国に輸出される食品の微生物汚染の状況 - RASFF 通知データベースを利用した分析 -
○窪田邦宏, 天沼 宏, 春日文子
(国衛研)

ポスター会場② (3階 ロビー)

ポスター展示：11月12日(木) 11:00～11月13日(金) 14:00

ポスター討論：11月13日(金) 11:20～12:10

- P-27 ノロウイルス BLEIA 法における BL 採便容器の有用性評価
○小野智也, 坂爪絵里, 横山 浩, 濱田邦彦
(株式会社江東微生物研究所)
- P-28 パンソルビン・トラップ法を用いた一般食品からのノロウイルス検出法の検討
○土屋祐司¹⁾, 神保達也²⁾
(浜松市保健環境研究所¹⁾, 浜松市動物園²⁾)
- P-29 卵由来成分を用いたサラダ中のノロウイルス不活化法
○土也知輝¹⁾, 高橋 肇¹⁾, 高橋迪子¹⁾, 仲沢萌美¹⁾, 松元良太¹⁾, 安田祐加¹⁾,
武内 章²⁾, 久田 孝¹⁾, 木村 凡¹⁾
(東京海洋大学¹⁾, キューピー株式会社²⁾)
- P-30 市販カキから検出されたノロウイルス GII. 17 の分子疫学解析
○吉富秀亮¹⁾, 芦塚由紀¹⁾, 野田 衛²⁾
(福岡県保健環境研究所¹⁾, 国立医薬品食品衛生研究所²⁾)
- P-31 静岡県のイノシンにおける E 型肝炎ウイルスの浸淫状況
○荒畑沙織, 池ヶ谷朝香, 佐原啓二, 川森文彦
(静岡県環衛研)
- P-32 食品由来疾患の障害調整生存年 (DALYs) の推定
○熊谷優子¹⁾, 窪田邦宏²⁾, 春日文子²⁾, 渋谷健司³⁾
(国立感染症研究所¹⁾, 国立医薬品食品衛生研究所²⁾, 東京大学大学院医学系研究科³⁾)
- P-33 食品の食中毒起因微生物検査に係るサンプリングプランのモデリング
○石崎直人, 國武佑真, 古畑勝則, 福山正文, 小西良子
(麻布大学 生命・環境科学部)
- P-34 一般生菌数迅速計測用シート培地サニ太くん ACplus の評価
○寺村 哉, 岩崎美穂子, 恩地裕一, 木村龍三, 牛山正志
(JNC 株式会社)
- P-35 乾式フィルム状培地を用いたメンブレンフィルター法によるカビおよび酵母の迅速検出法の検討
○金井勇治
(スリーエム ジャパン(株))

- P-36 患者糞便からの簡単で迅速な食中毒菌検出法
○花原悠太郎, 上田 豊
(鳥取県衛生環境研究所)
- P-37 集団食中毒発生時における食中毒原因菌の網羅的迅速検出法の利用と行政機関への情報提供
○川瀬 遵¹⁾, 江藤良樹²⁾, 池田徹也³⁾, 綿引正則⁴⁾, 亀山光博⁵⁾, 西田雅博²⁾, 世良暢之²⁾, 黒崎守人¹⁾, 川上優太¹⁾, 角森ヨシエ¹⁾, 村上佳子¹⁾, 林 芙海¹⁾
(島根県保健環境研¹⁾, 福岡県保健環境研²⁾, 北海道衛研³⁾, 富山県衛生研⁴⁾, 山口県環境保センター⁵⁾)
- P-38 DNA マイクロアレイを利用した *Lactobacillus buchneri* と *L. brevis* の識別
○山崎隆明¹⁾, 右田京子²⁾, 並木睦子²⁾, 大河内美穂²⁾, 一色淳憲¹⁾, 宮下 隆²⁾
(東洋製罐グループホールディングス株式会社¹⁾, キューピー株式会社²⁾)
- P-39 DNA マイクロアレイを用いた 4 種食中毒菌検査キットの性能評価
○中島和輝¹⁾, 山崎隆明¹⁾, 古川聡史¹⁾, 道志弘輝¹⁾, 柏原 賢¹⁾, 一色淳憲¹⁾, 大河内美穂²⁾, 右田京子²⁾, 岸野かなえ³⁾, 森 哲也³⁾, 天谷雪絵⁴⁾, 佐藤大地⁴⁾, 安藤洸幸⁴⁾, 千田智巳⁵⁾, 福島さやか⁵⁾, 岡島博史⁵⁾, 森中りえか⁶⁾, 宮下隆²⁾, 伊藤 武³⁾, 西岡則幸⁴⁾, 中川 弘⁵⁾, 原口浩幸⁶⁾, 川本伸一⁷⁾, 久米田裕子⁸⁾, 吉田充裕¹⁾
(東洋製罐グループホールディングス(株)¹⁾, キューピー(株)²⁾, (一財)東京顕微鏡院³⁾, 日本生活協同組合連合会⁴⁾, (株)BML フード・サイエンス⁵⁾, (株)ファスマック⁶⁾, (独)農研機構・食品総合研究所⁷⁾, 大阪府立公衆衛生研究所⁸⁾)
- P-40 ATP 法による牛乳および発酵乳中の大腸菌群迅速検出法の検討
○高橋尚美, 守屋佑佳, 辻本義憲
(株式会社 明治 研究本部)

ランチョンセミナー

1日目：11月12日（木） 12：00～13：00

1. 株式会社セントラル科学貿易

会場：B会場（6階 大会議室）

講演者：吉田信一郎先生

（一般財団法人 日本食品分析センター 微生物部 部長）

演題：食品とウイルス ～ 消費者への影響と製造現場への影響を考える ～

2. シスメックス・ピオメリュー株式会社

会場：C会場（3階 第4・5会議室）

講演者：宮本真理先生

（雪印メグミルク株式会社 品質保証部 食品衛生研究所）

演題：食品製造工場の工程管理における微生物検査への迅速試験法の適用
ーリステリア属菌を例にー

3. 栄研化学株式会社

会場：D会場（3階 第6・7会議室）

講演者：木村博一先生

（国立感染症研究所 感染症疫学センター 第六室 室長）

演題：ノロウイルスの分子進化と疫学

4. イルミナ株式会社

会場：E会場（5階 視聴覚室）

講演者：小田巻俊孝先生

（森永乳業株式会社 基礎研究所 腸内フローラ研究部 部長 農学博士）

演題：*Bifidobacterium*属細菌を中心とした腸内細菌叢研究

各会場の参加整理券は、当日分のみを、整理券配布場（1階 展示会場②[市民ギャラリー]内）で、12日（木）は午前9時30分から配布予定です。枚数に限りがありますので、ご了承ください。

また、各会場への移動については別途記載の方法に従っていただきますようお願いいたします。

ランチョンセミナー

2日目：11月13日（金） 12：20～13：20

5. デュポン株式会社

会 場：B会場（6階 大会議室）

講演者：宮本敬久先生

（九州大学大学院 農学研究院 教授）

演 題：腸管出血性大腸菌一病原性とその制御

6. タカラバイオ株式会社

会 場：C会場（3階 第4・5会議室）

講演者：飯田哲也先生

（大阪大学微生物病研究所 細菌感染分野 教授）

演 題：メタゲノミクスによる病原体検出および腸内細菌叢解析

7. メルク株式会社

会 場：D会場（3階 第6・7会議室）

講演者：Dr. Barbara Gerten（Merck KGaA R&D）

演 題：Report of ISO/CEN food microbiology meeting 2015

8. 日水製薬株式会社

会 場：E会場（5階 視聴覚室）

講演者：仲西寿男先生

（前 一般財団法人日本食品分析センター，元 神戸市環境保健研究所）

演 題：食中毒から食水系感染症への変遷

各会場の参加整理券は、当日分のみを、**整理券配布場（1階 展示会場②[市民ギャラリー]内）**で、**13日（金）**は午前9時15分から配布予定です。枚数に限りがありますので、ご了承ください。

また、各会場への移動については別途記載の方法に従っていただきますようお願いいたします。